

スコットランド在住の噂のゴッドハンドがいざなう

# 肉体と魂の変容を促す ホリスティック・マツサージ



レブ・セラ―◎40歳の時にフィンドホーンに移住し、マッサージを習い始める。ユニークで深い癒しの力を持つマッサージが評判になり、1999年からは日本でもマッサージを教え始める。フィンドホーンのエッセンスを取り入れた教え方は独特で、リラックスした雰囲気の中、マッサージと癒しについて、深く学び体感できるワークショップを行っている。毎年秋に日本を訪れ今年で13年目。現在、日本人のクライアントは1200人。<http://findhorn-holisticmassage.co.uk/Japanese/>

ホリスティック・マツサージセラピスト、レブ・セラ―さんは、解剖学や生理学をはじめとした、各種マツサージの学位を取得し、クライアントを肉体だけでなく、

魂レベルから解き放つゴッドハンドの持ち主。エネルギーやチャクラのブロックを解放し、

バランスさせ、生命力を高めるといふ独自に編み出したマツサージは、セッションの中だけでなく、その後もしばらくはスピリチュアルで深遠な体験を引き起こすことが多いのだとか。

来日する度、確かな腕と温かな人柄を絶賛するファンが後を絶たないレブさんにご自身のマツサージについてお聞きしました。

お話し◎レブ・セラ―さん 取材協力・写真提供◎小池洋子 取材・構成◎編集部

## 微細なレベルに働きかける マツサージセッション

私がマツサージ師の勉強を始めたのは、今から22年前の1989年のことです。前妻に「マツサージの才能があるんじゃない？」と言われたことがきっかけでした。

1991年から1年間にかけて資格を取り、翌年から様々なマツサージを勉強しました。例えば、スウェーデン・マツサージやスポーツ・マツサージ、治療効果のあるマツサージやキネシオロジー、レイキなどです。

私のマツサージスタイルは日々変

化して、現在でも進化し続けて

います。現在の「ホリスティック・マッサージ」のスタイルは、長年の経験を通して培ってきたものを集約して十数年前にできあがりしました。

セッションを受けた多くのクライアントが、私に「特別な力がある」と感じていらっしやるようです。でも、私は控えめなほうなので「そうなんです」とは言えませんが「笑」。こういった力は、簡単に言えば「直感」や「手のセンサーの繊細さ」といったものにあるでしょう。

私は、クライアントの体のエネルギーを敏感に感じ取ることができ、その方に必要なものを流すことができるんです。クライアントがヒーリングを受ける際に、重要なのは、「マッサージ師を信頼すること」です。優しいアプローチに加え、その方に、その時に一番必要なものを渡してあげられることによって、クライアントの信頼を培うことができ、その結果、とても深いレベルでヒーリングがなされるのだと思います。

## 人生の転換期に フィンドホーンと呼ばれた

マッサージの勉強を始めたのと同じ1989年頃、40歳になった私は、「これからの人生で何をしたいか」ということを、真剣に考えなくてはならない時期がきたと感

じました。

同時に、「人生のより精神的な面を探っていきたい」という思いを抱いていたある日、ちょっとした偶然が起きました。弟が経営しているイギリスのエンジンバラの本屋にいた時、不思議なことが起こったんです。突然、本棚から本が落ちてきて、私の手に乗りました。それは、『フィンドホーンの魔法』というタイトルの本でした。すると弟が「手の中に落ちてきたということは、運命ということだから、どうぞ持って行って」とプレゼントしてくれたんです。

その本は70年代に書かれたもので、当時のフィンドホーンと違って今は、ずいぶん変化したのだとは思われましたが、「これは、フィンドホーンに行ってみるのになんかいい機会かな」と思ったんです。なにしろ私は、フィンドホーンの近くのアバデインという町に住んでいたのでした。

その後も、不思議な偶然が重なりました。エジンバラの博物館に行った時に、20年以上も会っていないかつて昔のガールフレンドに、偶然ばったり出会ったんです。

話してみると、彼女は実はフィンドホーンで生まれ育っていたことがわかりました。しかも偶然にも、フィンドホーンの設定当時だった4人のメンバーのうちの一人、シーラ・ララモントさんという女性の娘だったんです。そしてもうひとりの創設者である、アイリーン・

キャデイの娘さんともとても仲が良かったと言います。

このような偶然が重なり、「フィンドホーンが私を呼んでいるんだな」と思うようになりました。それで、その年にワークショップに参加する目的で、フィンドホーンを訪れたんです。

それまでの私は、アバデイン大学の植物学科で研究をし、その後石油会社に就職し、10年間働いていました。アバデインには北海油田があり、市民の多くがそこに就職しているんです。

ですから、このような本格的なワークショップを受けるのは初めてでしたが、とても深い体験をすることができました。

この時、最も印象的だったのは「シェアリング」の時間です。心を開いて、お互いに何を感じ、何を体験しているのかを分かち合います。その他にも、例えば庭仕事など、コミュニティの人たちと仕事を分担し合っただけでなく、多くのプログラムに参加しました。

それらの素晴らしい体験をしたことにより、今後ずっとコミュニティの近くに住むかどうかについて、私は真剣に考え始めました。その後も何回か訪れて、その都度、強いインパクトを受けたので、とうとう引越することを決めました。

それ以来、今日に至るまで、ずっとフィンドホーンのコミュニティのすぐそばに住んでいます。

## 西洋と東洋の手法が混ざり 独自のマッサージが生まれた

「ホリスティック・マッサージ」は、西洋式の手法がベースになっていますが、でも、年を追うごとに、マッサージ効果だけではなく、「もつと別の効果」を感じているクライアントが多くなることに気づきました。

クライアントが感じるそのような深い経験は、私がクライアントの微細なエネルギーや経絡といったエネルギーを感じられることからきているのではないかと。そう思った私は、キネシオロジーの勉強を始め、さらに経絡やチャクラの働きについて理解を深めていきました。

私のマッサージが一般的なマッサージと異なる点は、人間の持つ3つのレベル「肉体」「感情」「精神」のすべてに働きかけるものだという点です。微細なエネルギーに働きかけるので、とても優しく柔らかいタッチが特徴です。西洋的なマッサージをベースとしながら、微細なエネルギーに働きかける東洋的な手法を取り入れているのです。

これは、特に誰かから教わったものではなく、経験を積むことによって生まれました。そして最終的には、「チャクラ・バランス」という方法を考案しました。

チャクラというのは、人間の生活や行動のすべてと繋がっています。ここにブロックが生じると、「最高レベルでの人生を送ることができな

い」ということに繋がっていきます。その場合、チャクラからブロックを取り除きます。

繊細なエネルギーに働きかけるため、クライアントにとって、エネルギーが体を流れていく感覚が、セッション後も2〜3時間続いたり、長い方だと2日間くらい続いたりすることがあります。

こういったことは、普通の指圧やアロママッサージなどでは体験できない、大きな違いではないでしょうか。

### チャクラのブロックを取り除く チャクラ・バランス

セッションでクライアントをみて



来日時のセッション後に、「日本は第二の故郷」と言うレブさんから、日本でのセッションは、いつもしっとりとした風情の旅館で行うのだとか。

いるときに、チャクラの振動を感じたり、ハミングしているような音が聞こえたり、エネルギーを感じることもよくあります。

それと同時に、どの部分にブロックがあるのかも分かるので、それを取り除くこともできるようになりました。

ブロックを取り除くには、主にビジュアライゼーションを使います。クライアントのその日の状態にもよりますが、時には必要最低限の癒しで終わることがあるし、逆にものすごく深い癒しが起こることもあります。多くのクライアントにとって、「チャクラ・バランス」の経験は、とても大きくて深いものです。

このことから、昨年より来日した

際には、「チャクラ・バランス」のワークショップを始めるようになりました。

「チャクラの色とオーラの色は、何か関係性があるのでしょうか」とよく聞かれますが、私は残念ながらオーラの色を見る能力は持っていないようです。

ただ、私にはチャクラの色がはっきり見えるし、感じることもできます。一般的にチャクラを勉強する時に習う色がありますよね。第1チャクラは赤、第2はオレンジといったように。

チャクラは鮮やかな色をしています。ですが、時にはそれがくすんでいる方がいます。色がくすんでいるのは、そこにブロックや問題、滞りがあるということなのです。

また、ハートチャクラは胸のところにあり、普通は青っぽい緑色をしています。時にはその中に、赤や茶色の点々が混じることがあります。それは過去や現在の人生における、心の傷や悩みが現れているように思います。

チャクラの色が見えるとは言っても、クライアントが私を本当に信頼して心を開いてくれないと、見ることはできません。それと、どのような生活をされているかということも、とても影響します。その方がヘビースモーカーで、1日20本もタバコを吸っているような場合だと、それが支障となって私が繋がることできないからです。

### インナーチャイルドも癒し 喜びに満ちた顔へと変化

スコットランドに来る方や、日本で受けられる方も含め、年間250人くらいのクライアントが私の元に訪れます。しかし、一人のクライアントのセッションに2時間以上の時間をかけるので、1日にそんなに多くの方を施術することができません。

セッションでは、最初の20〜30分間は、クライアントと話をすることから始まります。

そういった会話の中から、例えば過去に男性に虐待されたり、男性が近くにいると安心感が湧かないということ、話してくれる方も多いです。ですので、安心できる雰囲気を作ること、特に心がけています。

よく感じるのは、マッサージの後に、クライアントの顔がとてもオープンで輝いたものに変化すること。そしてバイブレーションも、平和で落ち着いたものになっています。

皆さんからよく聞くのは、とても体が軽くなり、筋肉の不快感が緩和したということです。それ以外に、自分の魂や宇宙の愛というものに、繋がりがやすくなったという声もよく聞きます。だからこそ、皆さんの顔が輝いて見えるんですね。

チャクラのブロックを取り、バランスさせることにより、ひんぱんに





## レブさんの新しいセミナー マジック・オブ・チャクラ

セッション以外でも、チャクラへの理解を深めていただく目的で、「マジック・オブ・チャクラ」というワークショップを行っています。これはある日、マッサージをしている時に、チャクラを通してエネルギーが動いているのを強く感じたことがきっかけです。

その時、私の意志とはまったく関係なくクライアントの体が勝手に動き出し、特に腰のあたりが強く反応しました。それから呼吸がとても深くなり、「不思議なエネルギー」が、指先や足のつま先から外に向かって流れていくのを感じました。

これをきっかけに、マッサージにチャクラバランスを取り入れることになりました。また、最近になって、クライアントから「レブさんがチャクラについて教えているはつきりした夢を見た」と言われ、それにインスパイアされて、このワークショップを始めたんです。

ワークショップでは、クリスタルボウルの演奏で瞑想に入りやすい状況を作り上げて、チャクラの旅を始めいきます。チャクラごとに瞑想し、ビジュアライゼーションを行います。この時、そのチャクラと関係のあるアロマオイルを焚き、チャクラのバイブレーションと繋がりがやすくし、各チャクラと関係のあるイメージや色も学びます。これは、実際に花などの自然界の写真を見ながら行いますが、例えば第1チャクラなら、木が根づいていく様子や赤い色をイメージします。こうして一つひとつのチャクラを探っていくのですが、例えば、人間関係や恋愛関係でチャクラがどういう影響を与えていくか、個人の特定の年代において、どのチャクラが重要な働きをするか、などということについても学んでいきます。その後で、どのようなものを見て感じたかをシェアリングし、グループでの繋がりも強めます。

合間に、瞑想で感じたものを皆さんに紙に表現してもらうことも行います。また、このセミナーでは、特別に、簡単なチャクラ・バランスの方法もお伝えしています。最後に、体を動かす「ムーブメント」(チャクラダンス)を行います。「マジック・オブ・チャクラ」のワークの体験後は、参加者の顔が輝いているのが分かります。昨年が初めての開催でしたが、とても良い反響をいただいています。

起こるのは、クライアントが涙を流し、その後は喜びに満ちた表情になることです。

特に女性の方の多くは、「男性に体を触られても、とても安心していられるのは人生で初めての体験です」「まるでお母さんに触られているような、とても優しいタッチ」とも言われます。とても優しくて柔らかいタッチのマッサージですから、今まで受けてきたマッサージとはまったく違う感覚を実感していただけるようです。

セッション中に色を見たとか、何かイメージが見えたということをおっしゃる方も多いです。特に、多いのが、「子供時代の思い出が蘇ってきた」というもの。それについては、おそらくインナーチャイルドも一緒に癒されたからなのでしょう。

## 全身麻痺の男性に起きた 数年ぶりの癒し

「ホリスティック・マッサージ」は、様々な解放をもたらします。その分、印象深いセッションがいくつもあります。

中でも、数年前に沖縄でお会いした30代の男性のケースは、大変悲しい状態でのヒーリングでした。その方のお母さんに、ヒーリングを頼まれたのですが、彼は頭部に受けたダメージによって全身が麻痺した状態だったのです。まったく動くことができないし、奥さんと赤ちゃんがいましたが、自分の子供とも話すことができないんですね。今思い出しても、私はとても感傷的になってしまいます。

彼はたくさんチューブに繋がっていて動くことができなかったのですが、セッションは彼のベッドで行いました。チューブがある状態のマッサージは、物理的にも大変難しいセッションでした。

でもその時に築いた彼との繋がりはすごく深く、とても感動的なものとなりました。セッションの後、お母さんは涙をポロポロ流し、「息子がこんなにリラックスしているのを見たのは、ここ何年もの間で初めてです」と話しかけてきました。

「どうして息子さんがリラックスしていることがわかるんですか?」と聞くと、「あの子の舌が口からべ

## レブさんのマッサージを受けた人たちの感想

ストレスでギリギリまで追い詰められていた時、信頼する方に勧められ、すがる思いで訪ねました。レブさんの印象は「妖精」。この世の人とはとても思えませんでした。セッションは、生い立ちや現在の状況などをカウンセリングで優しく深く掘り下げしていきます。続いて、リンパ、ロミロミ、整体など、様々な施術方法を組み合わせような、レブさん独自のマッサージ。時にソフトで、時に深層まで揉みほぐす力強いタッチが特徴です。最後にハグをしてセッションは終了。この時のレブさんの懐を形容するなら「すべての生命の母」。その懐に抱かれたとたん、私は堰を切ったように号泣し、何十分の間、涙と鼻水にまみれながら慟哭し続けました。ガチガチにこわばっていた体は、セッション後、羽根のように軽やかに！ 何より驚いたのが心の変化です。幼い頃のいじめ体験以来、自分を卑下し、自らを周囲の期待と失望で束縛し続けていたことに、初めて気づいたのです。不思議なことに、セッション後は至る所に啓示が出現し、私は会社を辞め、天職に辿り着くことができました。そして今、自分への絶対的な「愛」と「信頼」（我ながら驚愕）に満ちた幸せな日々を送っています。肉体のみならず精神をも癒し、解放してくれたレブさんなくして今の私はありません。（東京都/A・Kさん）

私は長年バレエをやっているのに、主に筋肉の調子を整えるために、興味を引かれて申し込みました。実際にお会いしたレブさんは、とても柔らかい優しい物腰の方でした。私の場合は、強いと感じることなくずっと心地よいタッチが続いていました。マッサージされている時は、何かを解放している感じで、ほとんどうつらうつらしていました。最後にチャクラを整えてくださった時に、突然第一チャクラからクラウンチャクラに向かって、うねるようなものすごいエネルギーが湧いてきて、それが、らせん状に脊椎を昇っていく感覚が全身に走りまわりました。そのあとは白い光に包まれて、至福の中にいました。こんな感覚は、ボディワークでは感じたことがありません。本当に素晴らしい経験でした。（三重県/M・Tさん）

レブさんの第一印象は、「妖精のおじさん」（失礼ですが）。ふんわりとした白髪と、綺麗な深い瞳が印象的なレブさんは「中性的」で、男性という感じがしません。最初のカウンセリングでも、とても思いやり深く話を聞いてくださるので、その温かさに涙が出そうになります。セッションの中盤から後半にかけては、もっと深い内面にまで響く施術で、すべてを忘れていくような感覚がありました。この感覚が「解放」とか、「忘我」というものだと思いました。（神奈川県/M・Oさん）

## Information

レブさんが来日します

チャクラセミナー

日程：9月3日（土）、4日（日）

マッサージを習うワークショップ

日程：9月9日（金）～12日（月）

個人セッション

日程：8月中旬～10月中旬

※詳しくは下記まで

お問い合わせ

小池洋子

TEL 03-5689-8226

MAIL yoko\_4545yoko@ybb.ne.jp

ロンと出ているのが、リラックスの証拠なんです。普段は、こんなことはないんです」と言われました。

プロフェッショナルなマッサージ師であると同時に、私も人間ですから、セッション中に感情が湧き上がってくる場合があります。でも、このような深い感情があるからこそ、クライアントとより深く繋がることのできるのだと思っています。

彼とのセッションの後、自分が健康であるということ、普通に生活を送れるということ、とても感謝しました。また、彼がこのような状態でありながらもマッサージを受ける気になったことで、私に

とつても、素晴らしいチャンスとなったのです。

## 第二の故郷日本で大勢の人たちを癒したい

もうひとつ印象的なケースとして、セッションの間に、スピリチュアルな歌を歌い始めた女性がいました。

「チャクラ・バランス」をしている間に、彼女は横たわったまま体を動かし、腕や腰を振り、歌いながら踊るような動きをしたんです。セッションの最後に、彼女はキリストが十字架ではりつけになったポーズをしました。

その方は、とても英語が上手で、後で「聖母マリアのイメージを見た」と説明してくれました。僕には、セッション中に彼女の体の周りに、白と紫の輝く色が見えていました。

「チャクラ・バランス」のセッション中に、クライアントの5%から10%の方が、とても強い体験をするようです。色を見たり、神秘的なエネルギーが体の中を流れているのを感じる方がほとんどです。皆さん、「とても心地良くて温かい感じだ」と言われます。

普段の私は、スコットランドにいる時は、セッションスケジュールはあまり詰めないようにしています。でも、来日した時は、時間を有効に使用したいので、なるべく多くの方の

セッションを行っています。

私にとって日本は、第二の故郷みたいな感じなんです。私はスコットランド人だけど、心は日本人なんじゃないかと思うくらい日本が好きで、セッション以外にも数え切れないくらい日本を訪れています。

今までに、1200人ほどの日本人の方に、私のマッサージを受けていただきました。「ホリスティック・マッサージ」が肉体に与える影響は大きいですが、それ以上に、ストレスや人間関係の悩みなど、精神面や心に深く働きかけます。

そういったパワフルな解放を促すマッサージを、日本の皆さんに提供できるのは、大きな喜びですね。